

高等学校教育のしくみ

I 高等学校

1 課程

課 程	定 義 (学校教育法)	公立高校 (H22 予定)
全日制	通常の課程	県立高校 31 校 高松市立高校 1 校
定時制	夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程	小豆島、土庄、三本松、三木、高松、高松工芸、高松商業、丸亀、多度津、観音寺第一 10 校 (H22 募集停止)志度、坂出工業 2 校
通信制	通信による教育を行う課程	高松、丸亀 2 校

2 学科

学 科	大学科	小学科	公立高校 (H22 予定)	
普通科	普通科	普通科	小豆島、土庄、三本松、津田、高松、高松東、高松南、高松西、高松北、香川中央、高松桜井、坂出、丸亀、丸亀城西、善通寺第一、琴平、高瀬、観音寺第一、(高松第一)19 校	
専門学科	職業学科	農業科	農業経営科等	石田、高松南、農業経営、笠田
		工業科	機械科、電気科等	志度、高松工芸、坂出工業、善通寺第一、多度津、三豊工業
		商業科	商業科、情報処理科 (~H21)	志度、高松商業、坂出商業
		水産科	海洋技術科等	多度津
		家庭科	家政科	石田、高松南、笠田
		看護科	看護科	高松南、飯山
		情報科	情報技術科、情報数理科	坂出商業 高松商業 (H22~)
	福祉科	福祉科	高松南 (H22~)	
	普通科系	理数科	理数科	三本松、観音寺第一
		音楽科	音楽科	坂出、(高松第一)
		美術科	美術科	高松工芸
		外国語科	英語実務科	高松商業
	文理科	文理科	三木	
総合学科	総合学科	総合学科	三木、飯山、観音寺中央	

3 普通科（普通教育を主とする学科）

○3年間を通して、特定の専門分野に偏らない普通教育に関する教科・科目を中心に学習をする学科。

【特色ある普通科における取組】

普通科コース制

「文系」や「理系」などのように、教育内容、教科・科目の履修の順序等を定めたコースを設定し、第2学年になる際に、生徒の進路等に応じて、コースを選択させる。原則、コース間の移動はできない。

普通科コース制の教育課程（例）（総合的な学習の時間・特別活動2時間を除く。）

1年	文系	共通履修 (28時間)							
	理系	共通履修 (28時間)							
	商業系	共通履修 (28時間)							
2年	文系	国語	地歴	数学	理科	保体	芸術	英語	
	理系	国語	地歴	数学	理科	保体	芸術	英語	
	商業系	国語	地歴	数学	理科	保体	芸術	英語	
3年	文系	国語	地歴	数学	理科	保体	英語		
	理系	国語	地歴	数学	理科	保体	英語		
	商業系	国語	地歴	数学	理科	保体	英語		

特色ある類型

普通科のコースのうち、特色ある類型については、別に定員を設定して、入学者選抜を行う。

- ・三本松高校 普通科 国際コミュニケーション類型
- ・香川中央高校 普通科 国際類型

普通科総合選択制

普通科において、特色ある系を設け、生徒の選択によって普通教科・科目だけでなく職業に関する専門教科・科目も大幅に履修することができる。

それぞれの系において履修を指定する教科・科目を設けるほか、所属する系に関わらず選択履修できる自由選択教科・科目を幅広く設け、興味・関心や進路等に基づき生徒が主体的に学習できる。

- ・土庄高校普通科

人文科学、自然科学、情報マネジメント、観光ビジネス、生活福祉の5系

- ・丸亀城西高校普通科

人文科学、人間科学、国際教養、商業、理数科学の5系

総合選択制普通科の教育課程（例）（総合的な学習の時間・特別活動2時間を除く。）

1年	共通履修 (28時間)		
2年	共通履修 (6時間)	系指定・選択 (14時間)	自由選択 (8時間)
3年	共通履修 (4時間)	系指定・選択 (12時間)	自由選択 (12時間)

- ・共通履修 すべての系で共通に履修する教科・科目。
- ・系指定・選択 各系の目標に応じて、系において指定する教科・科目（選択科目を含む）。
- ・自由選択 いずれの系においても選択することができる教科・科目。

4 専門学科（専門教育を主とする学科）

○専門学科は、次の2つに分類される。

- ・職業学科 …農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉等
- ・普通科系学科…理数、(体育)、音楽、美術、英語、文理等

○専門学科においては、専門教育に関する各教科・科目を25単位以上履修させることとしている。

○専門学科における各小学科のについては、別添のとおりである。

5 総合学科（普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科）

○一人一人の生徒の個性を尊重した教育を推進する観点から、普通科における就職希望者や専門学科における進学希望者への対応が不十分になっていることなどの問題を踏まえ、これまでの普通科と専門学科の2学科の区分を見直し、生徒の学習の選択幅を拡大することができるよう創設された。

○関連のある科目をまとめてグループ化したいくつかの特色ある系列を定め、原則として、入学後、原則履修科目「産業社会と人間」を履修し、その後、いずれかの系列を選択し、系列基礎科目、自由選択科目から科目を選択、学習する。また、他の系列の科目も選択することも可能である。

- ・三木高校 国際、流通、福祉の3系列

- ・飯山高校

国際理解、人文社会、福祉サービス、環境デザイン、食品文化、情報ビジネスの6系列

- ・観音寺中央高校

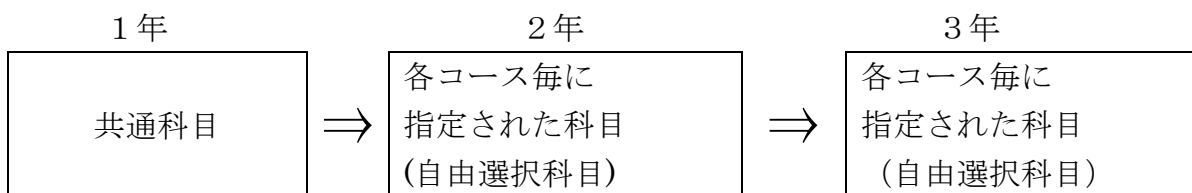
人文・社会、自然・環境、国際文化、生活科学、商業・会計、商業情報、食物の7系列

(例) 観音寺中央高校における、系列と特色ある科目例

系 列	特色ある科目例
人文・社会	文化、社会への理解を深め、幅広い教養や表現力を身につける。 世界史B、日本史B、地理B、地域の風土と文化など
自然・環境	理数系の科目を中心に学習し、自然や環境への理解を深め、科学的な見方や論理的思考を身につける。 数学Ⅱ、数学Ⅲ、物理Ⅱ、化学Ⅱ、生物Ⅱ、環境科学、科学研究など
国際文化	英語を中心に学習し、日本や外国の文化を学び、国際社会に対応できる能力を身につける。 ライティング、リーディング、生活英語、異文化理解、日本文化、外国文化など
生活科学	生活、福祉および健康に関する基礎的な科目を学ぶとともに、将来にわたって健康的な生活を大切にする姿勢を身につける。 社会福祉基礎、フードデザイン、発達と保育、服飾文化、スポーツⅡ、体づくり運動など
商業・会計	ビジネス社会の仕組みを理解し、実社会で役立つ知識や技術およびビジ社会でネスマナーを身につけます。各種資格検定試験に重点を置きます。 簿記、会計、原価計算、商業技術、総合実践、マーケティング、経済活動と法など
商業・情報	商業や経済に関する学習に加えて、情報機器の知識や技術、情報処理能力を身につける。 マルチメディア表現、情報処理、プログラミング、アルゴリズム、情報システムの開発
食物	調理師養成施設（厚生労働省指定）であり、食物に関する職業分野に従事するスペシャリストを養成する。定員は40名です。 調理、栄養、食品、食品衛生、食文化、フードコーディネーターなど

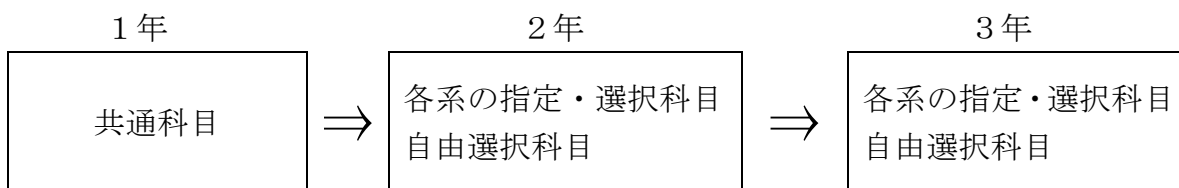
6 普通科（コース制、総合選択制）、総合学科について

①普通科コース制



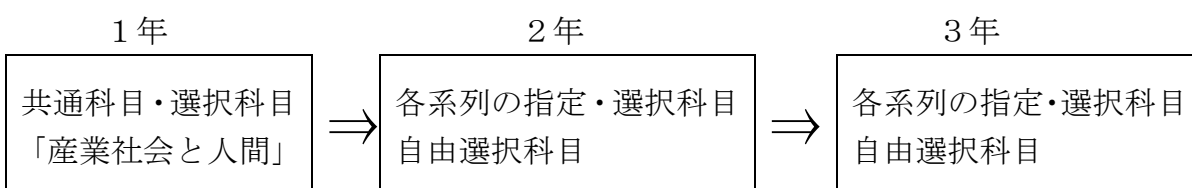
- ・学習の系統性を重視するため、途中でのコースの変更や他のコースの授業の一部を受けることは困難である。

②普通科総合選択制



- ・複数の専門学科における総合選択制を普通科の中で制度化し、学年制の仕組みの中でこれまで以上に選択幅の拡大を図ったものである。総合学科に比べ、学習の系統性をより重視するものである。

③総合学科



- ・単位制の仕組みの中で生徒の選択幅を最大限に拡大し、特定の普通科や専門学科など特定の学科の内容の学習だけでなく、それらを組み合わせたさまざまな学習の在り方を認めるものである。

7 専攻科について

○高等学校卒業した者等に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置。その修業年限は、1年以上とされている。

○香川県立高校においては、看護師及び海技士の資格取得を目的として、以下の3校に設置しており、修業年限は2年としている。

- ・高松南高校 専攻科 看護科（5年一貫教育）
- ・飯山高校 専攻科 看護科（5年一貫教育）
- ・多度津高校 専攻科 漁業科
機関科

○5年一貫教育の看護科において、3年次修了時に卒業して、専攻科に進まない選択もできるが、そのときは、准看護師などの資格を得ることはできない。

○短期大学などのように、専攻科修了後、大学への編入学資格は認められていない。

8 定時制・通信制課程について

①単位制

その学年の所定の単位を修得し、1年、2年と進級して卒業するのではなく、学年による教育課程の区分を設けず、卒業までに一定の単位（74単位以上）を修得すれば、卒業が認められる制度。

②3修制

定時制課程や通信制課程では、通常4年間で卒業するが、その他の部（昼間部、夜間部）での授業を受ける、定時制課程の生徒が通信制で学ぶ、授業以外の様々な方法で単位を修得し、修得単位の合計が74単位以上になれば、3年間での卒業が可能となる制度。

③多部制

昼間の授業、夜間の授業などを組み合わせた制度。一般に、午後部（4時間）と夜間部（4時間）の場合は2部制、さらに午前部（4時間）を含めた場合は3部制という。

・2部制

昼間部（第Ⅰ部）	夜間部（第Ⅱ部）
13:00～16:30	17:30～21:00

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
---	---	---	---	---	---	---	---

※ 昼間部は⑤⑥、夜間部は③④の履修により、3年での卒業が可能。（3修制）

・3部制

午前部（第Ⅰ部）	昼間部（第Ⅱ部）	夜間部（第Ⅲ部）
8:50～12:20	13:00～16:30	17:30～21:00

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※ 午前部は⑤⑥、午後部は③④または⑨⑩、夜間部は⑦⑧の履修により、3年での卒業が可能。（3修制）

④定通独立校

全日制は置かないで、定時制課程のみ、通信制課程のみ、定時制課程と通信制課程の両方を置く学校をいう。

⑤年度途中の入学・卒業

単位制高校において、4月のほかに10月の入学や、3月のほかに9月の卒業ができる制度。この制度により、3年半で卒業することも可能になる。

⑥科目履修生

単位制の定時制課程、通信制課程の高校で、聴講生として、希望する特定の科目のみ授業を受けられる制度。

II 中高一貫教育校

1 中等教育学校

一つの学校として、6年間一体的に中高一貫教育を行う。

公立の中等教育学校の入学については、学力検査は行わず、それぞれの学校の特色に応じて、適性検査、面接、抽選等の方法を組み合わせて行う。

2 併設型中高一貫教育校

高等学校入学者選抜を行わずに、同一設置者による中学校と高等学校を接続して、中高一貫教育を行う。

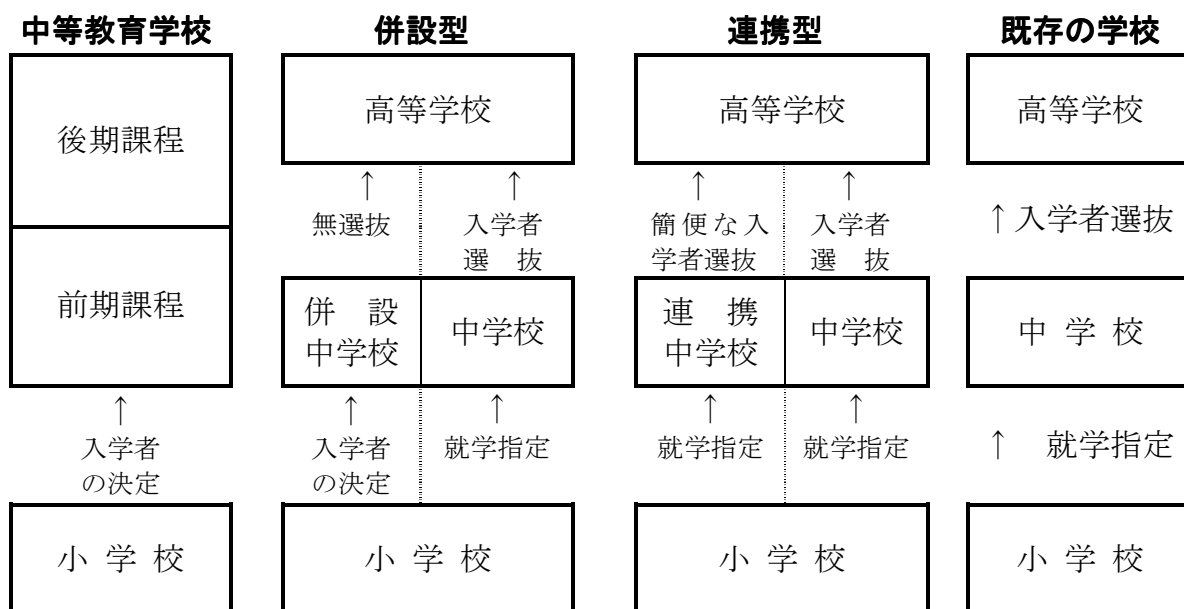
公立の併設型の中学校の入学については、中等教育学校と同様の方法で行う。併設中学校以外の中学校からの入学は、通常の入学者選抜による。

3 連携型中高一貫教育校

既存の市町立の中学校と都道府県立の高等学校など、異なる設置者による中学校と高等学校が教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を行う。

連携型の高等学校においては、調査書や学力検査による入学者選抜は行わず、面接、実技等の簡便な方法で行うことができる。

連携中学校以外の中学校からの入学は、通常の入学者選抜による。



香川県立高校一覽（「県立学校学則」第1条関係）

名 称	位 置	課程等	小学科
小豆島高校	小豆郡小豆島町草壁本町字上蔵田 57 番地	全日制	普通科
		定時制	普通科
土庄高校	小豆郡土庄町甲 282 番地 1	全日制	普通科
		定時制	普通科
三本松高校	東かがわ市三本松 1500 番地 1	全日制	普通科 理数科
		定時制	普通科
石田高校	さぬき市寒川町石田東甲 1065 番地	全日制	生産経済科 園芸デザイン科 農業土木科 家政科
志度高校	さぬき市志度 366 番地 5	全日制	電子機械科 情報科学科 商業科
		定時制	商業科※
津田高校	さぬき市津田町津田 1632 番地 1	全日制	普通科
三木高校	木田郡三木町平木 750 番地	全日制	文理科 総合学科
		定時制	普通科
高松高校	高松市番町 3 丁目 1 番 1 号	全日制	普通科
		定時制	普通科
		通信制	普通科
高松工芸高校	高松市番町 2 丁目 9 番 30 号	全日制	機械科 電気科 工業化学科 建築科 デザイン科 工芸科 美術科
		定時制	機械科 建築科 インテリア科
高松商業高校	高松市松島町 1 丁目 18 番 54 号	全日制	商業科 情報処理科※ 情報数理科 (H22～) 英語実務科
		定時制	商業科
高松東高校	高松市前田東町 690 番地 1	全日制	普通科
高松南高校	高松市一宮町字兵宅 531 番地	全日制	普通科 環境科学科 家政科 看護科 福祉科 (H22～)
		専攻科	看護科

名 称	位 置	課程等	小学科
高松西高校	高松市鬼無町山口 257 番地 1	全日制	普通科
高松北高校	高松市牟礼町牟礼字岡 1583 番地 1	全日制	普通科
香川中央高校	高松市香川町大野 2001 番地	全日制	普通科
高松桜井高校	高松市多肥上町 1250 番地	全日制	普通科
農業経営高校	綾歌郡綾川町北 1023 番地 1		農業生産科 環境園芸科 動物科学科 食農科学科
坂出商業高校	坂出市青葉町 1 番 13 号	全日制	商業科 情報処理科※ 情報技術科
坂出高校	坂出市文京町 2 丁目 1 番 5 号	全日制	普通科 音楽科
坂出工業高校	坂出市御供所町 1 丁目 1 番 2 号	全日制	機械科 電気科 化学工学科 建築科
		定時制	機械科※ 電気科※
丸亀高校	丸亀市 6 番丁 1 番地	全日制	普通科
		定時制	普通科
		通信制	普通科
飯山高校	丸亀市飯山町下法軍寺 664 番地 1	全日制	看護科 総合学科
		専攻科	看護科
丸亀城西高校	丸亀市津森町位 267 番地	全日制	普通科
善通寺第一高校	善通寺市文京町 1 丁目 1 番 5 号	全日制	普通科 デザイン科
琴平高校	仲多度郡琴平町 142 番地 2	全日制	普通科
多度津高校	仲多度郡多度津町堀江 1 丁目 2 番 1 号	全日制	機械科 電気科 土木科 建築科 海洋技術科 海洋生産科
		定時制	機械科 電気科
		専攻科	漁業科 機関科
笠田高校	三豊市豊中町笠田竹田 251 番地	全日制	農産科学科 植物科学科 食品科学科 家政科

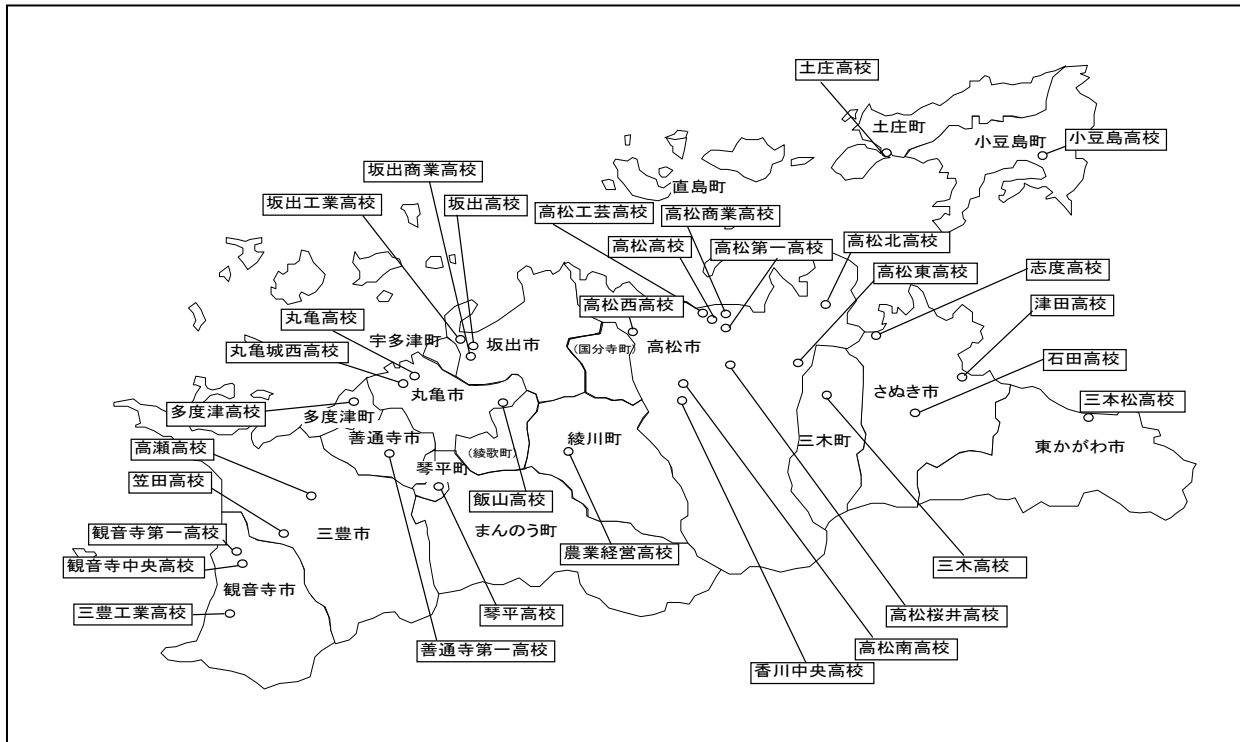
名 称	位 置	課 程 等	小 学 科
高瀬高校	三豊市高瀬町下勝間 2093 番地	全日制	普通科
観音寺第一高校	観音寺市茂木町 4 丁目 2 番 38 号	全日制	普通科 理数科
		定時制	普通科
観音寺中央高校	観音寺市天神町 1 丁目 1 番 15 号	全日制	総合学科
三豊工業高校	観音寺市大野原町大野原 5537 番地	全日制	機械科 電気科 電子科

※ 平成 22 年度から募集停止

(高松市立高校)

高松第一高校	高松市桜町 2 丁目 5 番 10 号	全日制	普通科 音楽科
--------	---------------------	-----	------------

公立高校配置図 (平成 2 2 年度)



専門学科の目標（「県立学校学則」第1条の2関係）高等学校

区分	学科	目標
1 農業科	(1) 農業生産科	作物、野菜及び果樹の栽培並びに農業経営に関する知識と技術を習得させ、作物の栽培などを中心とする農業経営者や農業技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(2) 生産経済科	流通経済及び農業経営に関する知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(3) 農産科学科	野菜及び果樹の栽培、家畜の飼育などの食料生産並びに農業経営に関する知識と技術を習得させ、食料生産を中心とする農業経営者や農業技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(4) 園芸デザイン科	園芸作物の栽培、農業経営、バイオテクノロジー・環境制御並びに緑地環境の計画、設計、施工及び管理に関する知識と技術を習得させ、園芸若しくは施設園芸を中心とする農業経営者や農業技術者又は造園経営者や造園技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(5) 環境園芸科	草花の栽培、バイオテクノロジー・環境制御、緑地環境の管理、農業機械の整備及び農業経営に関する知識と技術を習得させ、草花の栽培などを中心とする農業経営者や農業技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(6) 植物科学科	植物バイオテクノロジー及び草花の栽培に関する知識と技術を習得させ、植物バイオテクノロジーの利用及び草花の栽培に関する業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(7) 動物科学科	家畜その他の動物の飼育・活用及び農業経営に関する知識と技術を習得させ、畜産を中心とする農業経営者や農業技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(8) 農業土木科	土地改良及び農地の保全・開発に関する知識と技術を習得させ、農業土木に関する業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(9) 食品科学科	農畜産物を中心とする食品の加工・貯蔵及び分析・品質管理に関する知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(10) 食農科学科	農作物の栽培及び家畜の飼育並びに農畜産物を中心とする食品の加工・貯蔵及び調理に関する知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(11) 環境科学科	環境に配慮した園芸作物の栽培・活用、バイオテクノロジー・環境制御及び地域環境の保全・創造に関する知識と技術を習得させ、施設園芸を中心とする農業技術者又は農業土木に関する業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。

区分	学科	目標
2 水産科	(1) 漁業科	漁業及び漁船の運航に関する知識と技術を習得させ、主として漁船に乗り組んで海洋漁業に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(2) 海洋技術科	船舶の運航、船舶の機関及び関連装置の運転管理などに関する知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(3) 海洋生産科	水産物の増殖及び養殖又は水産物を中心とする食品の加工・貯蔵及び流通に関する知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(4) 機関科	漁船の機関及び関連装置に関する知識と技術を習得させ、主として漁船に乗り組んで機関の運転管理に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
3 工業科	(1) 機械科	機械に関する知識と技術を習得させ、機械工業及びこれに関連する諸分野において、製造、管理、企画、設計、研究、整備、営業、技術サービスなどの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(2) 電子機械科	機械技術と電子技術との融合によるメカトロニクスに関する知識と技術を習得させ、機械加工産業及びこれに関連する諸分野において、その自動化・システム化の運用、管理などの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(3) 電気科	電気に関する知識と技術を習得させ、電気機器製造業、電気事業及びその他の電気関係の諸分野において、製造、管理、設計、研究、運用、保守、技術サービスなどの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(4) 電子科	電子に関する知識と技術を習得させ、電子工業及びこれに関連する諸分野において、製造、管理、設計、研究、保守、技術サービスなどの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(5) 工業化学科	工業化学に関する知識と技術を習得させ、化学工業及びその他の化学を応用する諸分野において、製造、試験、研究、環境保全、技術サービスなどの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(6) 化学工学科	化学工学に関する知識と技術を習得させ、化学工場その他の化学工業関係の諸分野において、装置の企画・設計・運転・管理、研究、技術サービスなどの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(7) 土木科	土木に関する知識と技術を習得させ、建設業及びこれに関連する諸分野において、計画、設計、施工、管理などの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。

区分	学科	目標
	(8) 建築科	建築に関する知識と技術を習得させ、建築業及びこれに関連する諸分野において、建築の設計、施工、監理などの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(9) インテリア科	インテリアに関する知識と技術を習得させ、室内環境の構成、施工などに関する諸分野において、企画、設計、施工、製造などの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(10) デザイン科	デザインに関する知識と技術を習得させ、産業界などにおけるデザインに関する諸分野において、デザインの制作、研究などの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(11) 情報科学科	電子計算機に関する知識と技術を習得させ、電子計算機のハードウェア及びソフトウェアに関する諸分野において、設計、製造、保守、技術サービスなどの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(12) 工芸科	工芸に関する基礎的な知識と技術及び金属工芸、漆芸又はインテリアに関する専門的な知識と技術を習得させ、これらの分野において、企画、考案設計・製作、研究などの業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
4 商業科	(1) 商業科	広く商業に関する諸分野についての知識と技術を習得させ、これらの業務に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
	(2) 情報処理科	情報処理に関する分野についての知識と技術を習得させ、電子計算機による情報処理の業務に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
5 家庭科	家政科	家庭生活に関する知識と技術を家庭経営の立場から総合的に習得させ、家庭生活を営む者や家庭生活に関する職業に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
6 看護科	看護科	看護に関する知識と技術を習得させ、保健医療機関などにおいて、看護の業務に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
7 外国語科	英語実務科	高等学校教育における調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、英語及び英語を使用する実務に関する知識や技能を習得させ、英語の運用に関する業務に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
8 美術科	美術科	高等学校教育における調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、美術に関する内容を深く学習させ、豊かな表現力と創造性を育成することによって、美術文化の発展に寄与できる者として必要な能力・態度を育てる。

区分	学科	目標
9 音楽科	音楽科	高等学校教育における調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、音楽に関する内容を深く学習させ、豊かな表現力と創造性を育成することによって、音楽文化の発展に寄与できる者として必要な能力・態度を育てる。
10 理数科	理数科	高等学校教育における調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、自然科学及び数学に関する内容を深く学習させ、事象を科学的、数学的に考察し、処理する能力を高め、創造的な能力や探究的な態度を育てる。
11 情報科	(1) 情報技術科	電子計算機を活用したシステムの設計・管理及びマルチメディアに関する知識と技術を習得させ、情報関連の業務に従事する技術者として必要な能力・態度を育てる。
	(2) 情報数理科	情報分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、情報活用能力と数学的思考力を高め、情報関連の業務に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
12 福祉科	福祉科	福祉に関する知識と技術を習得させ、福祉の業務に従事する者として必要な能力・態度を育てる。
13 文理科	文理科	高等学校教育における調和のとれた一般的な教養を高めるとともに、言語、文化及び自然科学に関する内容を興味・関心に応じて深く学習させ、自ら学ぶ意欲を高め、創造的な能力や探究的な態度を育てる。